

## 大会展望

### 【男子】

今大会の注目校も岐阜農林高校だ。今年の冬も、決勝リーグで相手校を全て40点台に押さえる圧倒的なディフェンス力で全勝優勝を果たした。2年連続37回目のインターハイ出場を狙うことになる。対抗は、美濃加茂高校だ。新人戦の決勝リーグでは、わずか4点差で敗れた。その雪辱を果たすことを誓っているに違いない。大型1年生も入学し、更に攻撃的なオフェンスが展開されるだろう。1年前の大会同様、富田高校も絡んだ三つ巴で最後までつれるのか！新人大会では惜しくもゴールアベレージで東海大会出場を逃した中津川工業高校が絡んでくるのか！全く目が離せない。長良高校・大垣工業高校などのシード校の活躍と共に、決勝リーグでの激闘に期待したい。

# A

第1シードの岐阜農林高校が頭一つ飛び抜けている。それに対抗するのは予選で新人大会ベスト8の大垣日大高校を破り、西濃地区を勝ち抜いてきた大垣東高校だ。飛騨地区2位の斐太高校にも注目したい。

# B

激戦のBブロック。1回戦から白熱したゲームが予想される。本命の中津川工業高校は2回戦で前大会ベスト8の大垣日大高校と戦うことになるだろう。更に中濃地区1位の可児工業高校、東濃地区1位の中京高校の勝者がシード校の長良高校と戦うことになる。波乱のブロックとなりそうだ。

# C

富田高校、大垣工業高校の一騎打ちが予想されるが、各地区の予選を1位で突破してきた、恵那高校、岐阜高専高校、高山西高校が待ったをかけられるか。

# D

第2シードの美濃加茂高校の圧勝が予想される。岐阜総合学園高校がどこまで食い下がることのできるのか期待したい。

### 【女子】

今大会も、優勝候補は岐阜女子高校である。今年の東海新人大会では、決勝で桜花学園高校と互角の戦いを繰り広げた。間違いなく全国高校総体の優勝カップを狙っているだろう。対抗は、その地位を虎視眈々と狙う県立岐阜商業高校である。また、大型センターが充実している高山西高校や長良高校が、どこまで戦えるのか注目したい。

# A

岐阜女子高校が圧勝することが予想される。シード校の岐阜農林高校と、西濃地区1位の大垣商業高校の活躍にも期待したい。

# B

シード校の長良高校が有力校と予想されるが、シード校の土岐商業高校や、各地区を勝ち上がってきた岐阜高校、中濃地区1位東濃実業高校の活躍にも期待したい。

# C

高山西高校と岐阜総合学園高校が順調に勝ち上がるのではないだろうか。東濃地区1位で勝ち上がってきた恵那高校にも期待したい。

# D

県立岐阜商業高校と岐阜城北高校の一騎打ちになるだろう。地区大会上位で勝ち上がってきた斐太高校、各務原西高校も粘り強く最後まで挑んでくるだろう。